

社会福祉法人やすらぎ福祉会 令和6年度事業報告書

法人本部事業 重点目標

『働き続けやすい職場環境づくり』

『市内の認知症対応型デイサービス事業所との連携を図る』

1. 経営の安定と事業の充実

本年度もデイサービス事業は厳しい経営が続き、積立金の取崩しで人件費の補填をする事となった。

有給休暇取得や効率的な働き方の検討を進め、働き続けやすい職場づくりに努め、人材は安定した形で推移し、業務分掌の見直しを進め、安定した運営ができた。

2. 法人運営の透明性の確保と信頼性の向上

高齢者の生活と人権を擁護するため、自主点検を強化すると共に、ホームページの活用で情報公開に努めた。

3. 職員・役員等の研修、人材育成について

研修については会計研修や法人監事研修に参加し、学びを深める機会になった。教材の提供を行ない、個別目標の設定と各自が自己学習に取り組んだ。

役員研修は実施できなかった。

4. 地域づくりの拠点となる存在へ

地域向けの研修は実施できなかったが、「やすらぎの家だより」第45号を発行した。また運営推進会議では、認知症の人や介護家族の地域での暮らしを支える取り組みを、具体的な事例を通して検討し、今後の在り方を考えるよい機会となった。

5. 今後の方向性について

出雲市内の認知症対応型デイサービスネットワーク会議を主催し、認知症デイをめぐる状況を共有する事ができた。意義や課題を考える機会として持てたことは大きく、今後の法人としての方向性を考えるきっかけになった。単一の認知症対応型デイサービスでの運営は厳しく、理事会、評議委員会で課題を検討していきたい。